



新 翔

Shinsho

2 学年修学旅行

1月24日(火)～27日(金)

集団生活における個

人の役割の自覚、スキー・スノーボードの習得を目的に、雪国の生活体験を行った。開校式で、修学旅行委員長の前田建人君がスキー学校の先生方に、「沢山の雪を見て、興奮しています。よろしくをお願いします」と挨拶した。最初、悪戦苦闘しながら滑っていた生徒たちも指導のお陰で、2日目にして基礎を習得し、笑顔で滑っていたのが印象的であった。閉校式で修学旅行副委員長の濱地杏奈さんが「短い期間でしたが、熱心に指導していただき、ありがとうございました。先生方の指導でうまく滑れるようになりました」と挨拶してスキー・スノーボードの講習を終了した。帰校後、生徒から「いい思い出になった。またスキーをしたい」といった意見が多数聞かれた。



高校生よみかたりボランティア交流活動(下里小学校)

2月10日(金)

今年度最後の交流活動を実施した。3年生3名が参加し、対象児童は1年生17名のとても元気ある子どもたちだった。まず手あそび「おてらのおしょうさん」で緊張をほぐした後、『ねずみくんのチョコッキ』、『ラーメンちゃん』、『シュークリームのおきやくさま』(紙芝居)、『おばけのてんぷら』、『もっちゃうもっちゃうもっちゃうもっちゃう』と続いた。その間、和やかだけれど活発なやりとりがあり、最後に少し時間があつたので、『ぼちぼちいこか』を小学生にも参加してもらってよみかたり、45分は瞬く間に過ぎた。「すごく楽しかった。また来て下さい」とのことばをいただき、生徒たちは大きな達成感を胸に小学校を後にした。



「熊野と防災」授業の報告

2月10日(金)

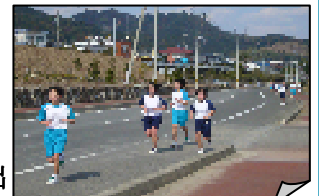
陸上自衛隊信太山駐屯地の佐藤氏を講師に迎え、話をしていただいた。氏は東日本大震災と台風12号での救援活動を経験されており、選択生16名に対し、その経験から災害に対する備えについて話された。備蓄は腐らないものにする、地震では自転車活躍した。また、それがパンクしても自分で直せることが大切で、何にでも興味を持って生活することが災害時に役立つ。さらに、最近災害が頻発していることから、今準備できることをリストアップし、それを備えること。災害時は、グループを作って行動することが重要であること等を話された。最後に、自衛隊のレトルト食品やコップ一杯の水で温かいご飯ができるものの紹介があり、講演後レトルト食品をいただいた。東日本大震災や台風12号の事前学習をして、今回の講演に臨んだが、最前線で活動する隊員の話に強い興味を示し、防災に関する知識と意識を高めた。



第5回新翔高校マラソン大会

2月17日(金)

少し風があり寒さを感じたが天候に恵まれ実施できた。新宮港付近の道路をお借りして男子は5.5km、女子は3.7km。13時20分に男子、13時30分に女子が発し、どの生徒も授業で積み重ねてきた練習の成果をだすため懸命に走っていた。制限時間は男女とも40分間。時間内にすべての生徒がゴールできたことは、個人の授業での取り組みが結果に結びついていると感じる。持久走は苦手な生徒が多いが、回数を重ねると成果が目に見えて現れてくる。苦しいことの中から自分を伸ばすきっかけを見つけて努力をすることを持久走から学んでほしい。最後になりましたが、この大会を開催するにあたり、仕事にもかかわらず、快く協力していただいた新宮港付近の企業の方々に感謝を申し上げます。本当にありがとうございました。



3月トピックス

- 1日(木)・・・第5回卒業式
- 12日(月)～13日(火)・・・高校入試
- 15日(木)・・・進路説明会
- 21日(水)・・・合格発表(午前10時)
- 22日(木)・・・入学手続き説明会(13:00～15:00)
- 23日(金)・・・終了式